（令和2年度）地域再生計画認定事業の進捗状況

資料２

令和２年度までに、内閣府より地域再生計画(※)の認定を受けた事業について、実施した事業内容や計画内で設定しているKPIの実績等に基づき効果検証を行うものです。

※地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出、その他地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地方公共団体が単独もしくは連携して実施する自主的かつ自立的な取り組みに対し、作成する計画。地方創生関連交付金を活用する場合は、再生計画の認定を受けていることが必須となる。

達成	目標値をすでに達成している。
順調	各年度の目標値（累計）達成度が80%以上
概ね順調	各年度の目標値（累計）達成度が60%以上80%未満
遅れ	各年度の目標値（累計）達成度が60%未満
未達成	最終年度の目標値が未達成
不明	計測不可

事業名・計画概要・期間・活用交付金	ＫＰＩ(重要業績評価指標)	単位		平成28年度	平成29年度 増加分	平成30年度 増加分	令和元年度 増加分	令和2年度 増加分	進捗
【事業名】 「みとよ未来創造館」を核とした多世代交流による地域のにぎわい創出事業～住みたくなる「強く、やさしく、楽しい三豊」の実現に向けて～ 【計画概要】 高瀬町農村環境改善センターを改修し、新たに公民館機能と図書館機能を加えた「創造館」を整備するとともに、旧公民館・図書館の跡地に、地域子育て支援の拠点「ランド」を整備する。 本整備により、エリアー体的に子どもから高齢者までが活発に世代間交流を行うにぎわい創出を図る。 【計画期間】 H29.2.24～R3.3.31 【活用した交付金】 地方創生拠点整備交付金	未来創造館における使用料収入増加額	千円	目標値		0 （累計：0）	2,000 （累計：2,000）	2000 （累計：4,000）	2000 （累計：6,000）	未達成
			実績		684 （累計：684）	▲610 （累計：78）	▲335 （累計：▲261）	▲782 （累計：▲1,043）	
	エリアにおける民間主体の新規事業数	事業	目標値		1 （累計：1）	1 （累計：2）	1 （累計：3）	1 （累計：4）	未達成
			実績		0 （累計：0）	0 （累計：0）	0 （累計：0）	0 （累計：0）	
	商業施設での売上高（増加額）	千円	目標値		500 （累計：500）	10,000 （累計：10,500）	20,000 （累計：30,500）	30,000 （累計：60,500）	未達成
			実績		0 （累計：0）	0 （累計：0）	0 （累計：0）	0 （累計：0）	

※H29に繰越のため、KPI検証はH29から

平成29年度に公民館及び図書館の移転・整備を行い、旧三豊市農村環境改善センターはみとよ未来創造館としてリニューアルオープンした。
創造館に整備した「みとよ未来図書館」や「高瀬町公民館」は、新型コロナウイルス感染拡大や少子高齢化などを理由に、利用者が大きく減少する中、安心安全のもと、幅広い年代に施設を利用してもらうことができるよう取組を進めている。
子育て拠点の整備に関しては、支援を必要とする子どもや家庭が気軽に相談でき、適切なサポートを受けられる施設づくりをめざして、現在、改めて市民ニーズを調査し、建設場所や機能、規模等について検討した上で整備を進める予定としている。
計画期間は、令和２年度を以て終了したが、本庁舎周辺エリアを一体的に捉え、子育て支援機能のみならず行政機能や文化教育機能などを複合的に集約することで、市民生活を豊かにし、利便性の高い施設づくりに引き続き取り組む。

事業名・計画概要・期間・活用交付金	ＫＰＩ(重要業績評価指標)	単位		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	平成4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	進捗
【事業名】 道の駅「たからだの里さいた」を拠点とした地域の元気づくり事業 【計画概要】 財田町にある「たからだの里」物産館において、売上拡大や新規顧客獲得に向け、改修を行う。 店舗と併設する事務所を別棟に移転させ、売り場スペースを拡張するとともに、店舗レイアウトや商品配置の変更を行い、顧客の回遊性・商品の視認性を向上させることで、スムーズな人の流れを作り、更なる利用客を受け入れる。 新たに設置するパン工房では、購買頻度が高いパンを焼き立てで販売することで、道の駅全体の利用頻度を高める。 【計画期間】 R2.3.30～R7.3.31 【活用した交付金】 地方創生拠点整備交付金	売上高（道の駅全体）	千円	目標値		15,132 (累計：15,132)	7,567 (累計：22,699)	7,567 (累計：30,266)	7,567 (累計：37,833)	―
			実績						
	物産館利用者数（レジ通過者数）	千人	目標値		4 （累計：4）	2 （累計：6）	2 （累計：8）	2 （累計：10）	―
			実績						
	観光入込客数	千人	目標値	8 （累計：8）	12 (累計：20)	12 (累計：32)	12 (累計：44)	12 (累計：56)	未達成
			実績	-463					
	環の湯利用者	千人	目標値		3.75 （累計：3.75）	0.25 （累計：4）	0.25 （累計：4.25）	0.25 （累計：4.5）	―
			実績						

売上の好調な「物産館」の機能強化を目的として、施設における売場拡張と店内レイアウト変更による増改築工事を行い、視認性を向上させた。
３月のリニューアルオープン時には、新設したパン工房も好評を得ることができ、地域内外のリピーター及び新規顧客の獲得、売上・収益の向上につなげることができた。
また、指定管理者制度による施設運営を行い、モニタリングにより運営状況を把握し、コロナ禍で利用者が低迷する中、決算において利益を確保した。

事業名・計画概要・期間・活用交付金
【事業名】 先端技術の活用によるローカルイノベーション推進計画（※県との共同申請のため、市でのKPI検証はなし） 【計画概要】 　AIやIoTなど先端技術を地域経済に実装させることで、地域の産業構造に大きな変革をもたらし、地域産業の活性化に取り組むものである。 　事業実施にあたっては、産学官金の連携によるプラットフォームを整備し、先端技術の社会実装や研究開発、人材育成等を一体的に取り組み、地域内でのイノベーションシーズを創出していく。 　以下の５つの分野を連動させることで、地域内に先端技術を活用した成功モデルを絶え間なく生み出すローカルイノベーションエコシステムを形成していく。 　①産学官気連携の場の構築・運営 　②人材育成による地域のキーパーソンの創出 　③新たなビジネスシーズの創出に向けた研究開発 　④ワンストップ型技術支援体制の構築によるイノベーションの推進 　⑤行政への先行導入によるモデルケースの創出 【計画期間】 H31.3.29～R4.3.31 【活用交付金】 地方創生推進交付金